

# とうきょう消防

第13号

TOKYO  
FIRE  
NEWS



平成26年6月1日発行(年4回発行) 東京消防庁企画調整部広報課 〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5 電話:03-3212-2111(代表) ホームページ: <http://www.tfd.metro.tokyo.jp>

主な  
掲載内容

- <1面> 東京消防庁救急相談センター 東京版 救急受診ガイド 応急手当を学びましょう!
- <2面> 災害時に支援や配慮が必要となる方々を地域で支えましょう!! 高層マンションのカーテンやじゅうたんは防災物品に! 火災から身を守る防災製品を! 高めよう!地域の防災力 Miniコラム プレゼントコーナー

## 「病院へ行ったほうがいいのかな?」「救急車を呼んだほうがいいのかな?」迷ったとき2つの安心!

病院へ?



救急車?

### 電話で相談

#### 東京消防庁 救急相談センター

[24時間受付・年中無休] 携帯電話 PHS ブッシュ回線

# #7119

つながらない場合は...

23区 03-3212-2323 多摩地区 042-521-2323

急な病気やけがをした場合に、病院へ行くべきか?救急車を呼ぶべきか?迷ったら、電話での相談ができる救急相談センターを開設しています。相談医療チーム(医師や看護師、救急隊経験者等の職員)が24時間年中無休で、症状に基づく緊急性の有無、受診の必要性に関するアドバイスや診療可能な医療機関を案内しています。

以下のような内容等は、救急相談としてお受けできないものがあります。  
<健康相談/医薬品情報に関すること(誤飲を除く)/セカンドオピニオンに関すること>



相談医療チームが電話で対応します。

### ネットでガイド

#### 東京版 救急受診ガイド

病気やけがの緊急度や受診する科目が東京消防庁ホームページで確認できる!  
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp>



携帯電話はこちら



スマートフォンはこちら



「東京版 救急受診ガイド」は、急な病気やけがをした場合に、東京消防庁のホームページにアクセスし、携帯電話・スマートフォンやパソコンなどから画面に表示される症状に応じて質問に答えていくことで、相談結果が表示され、傷病の緊急度や受診する時期・受診する科目などがご自身で確認できます。

相談結果の画面から直接119番や救急相談センターに電話をかけることもできます。(パソコン版を除く)



**緊急性があると思われるときは、ためらわず救急車を呼んでください。**

傷病者の様子や事故の状況などから、急いで病院へ連れて行ったほうが良いと思ったときには、迷わず119番通報を!



## 応急手当を学びましょう!

### 救うのは一番近くのあなたの手

平成26年度東京消防庁救急標語 作者:阿部 媛名乃(あべ ひなの)さん(大田区在住)

胸骨圧迫は胸の真ん中を強く押す!

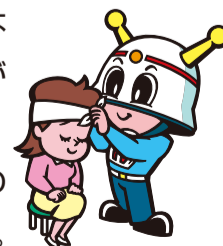
AEDを活用!

反応がなく普段通りの呼吸がなければ、すぐに胸骨圧迫を!

救急搬送された心停止傷病者で、その場に居合わせた人(バイスタンダー)による応急手当が行われ、医療機関に収容されるまでに呼吸や脈が回復した人は466人(2,029人中)で、応急手当が無かった場合の345人(3,105人中)と大きな差ができています。(平成24年中)

心臓が止まってから3分間何もなかった場合、命が助かる可能性は30%を下回ってしまいます。その場に居合わせた人による応急手当が大切なのです。

東京消防庁では、都民のみなさまや事業所を対象とした応急手当の講習会を行っています。詳しくは、お近くの消防署へお問合せください。



# 救急車の適正利用にご協力を!



救急出場件数の増加で救急車が到着するまでの時間も伸びます。  
救急出場件数過去最高を更新 — 平成25年中速報値 —  
到着までの平均時間 7分55秒